



行 政·心 配 E 相 談を 五 **万二十** 几 Ħ 午前十時 か 5 午 後 Ξ 時 まで 市役所 で 行 な 6. ま す

5 60	略和142年5月10日第11(2)
通係温を。と行う見	春の全国交通などれることにつとめましよの協力を温んでおります。 たこの期間中、市内の交通関確保」と「ダンブカーなど大に動きたり、あらゆる面から重点がおかれています。 たこの期間中、市内の交通関確保」と「ダンブカーなど大に動きたり、あらゆる面から重点がおかれています。 にの要金運動をおします。 にとしたなっており、みなさん にとくに注意し、交通事故を にことしたの面間を開いたです。 にことしたいすり、みなさん にとくに注意し、交通事故を にとくに注意し、交通事故を にとくに注意し、交通事故を にとくに注意し、交通事故を にしたなっており、みなさん にとくに注意し、交通事故を
す一時停止する。 ・ 横断歩道または、道路の左 福祉を増進するために必要な ・ 中小企業退職金共済制度に 一 中小企業退職金共済制度に ・ 大市 、 本年度も次の要領で補資 の 、 、 本年度も次の要領で補資 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	
デー時停止する。 デー時停止する。 学一時停止する。 常確構断しようとしている。 素理な迫越をしない。 協員とする団体に、従薬員の「▽融資を受けられるもの 、たは、共済契約者を主たる構の受付けを行なっております 飲酒運転をしない。 広員とする団体に、従薬員の「▽融資を受けられるものの 「一小企業退職金共済制度に 報金の一部を、共済契約者を1000000000000000000000000000000000000	まで まで まで たがのときは、外側大回 一、「「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」」 「」 「
の賃付付を行なってきました。以上が中小企業退職金共済制 設置または繁備に要する資金。ご構成員(車業主)の二分の一 労働者住宅、その他の施設の「加入している事業主 労働者住宅、その他の施設の「加入している事業主 労働者住宅、その他の施設の「加入している事業主 の一部を、共済契約者を主たる構。の受付けを行なっております には、共済契約者を主たる構。の受付けを行なっております には、共済契約者を主たる構。の受付けを行なっております のしの施設の「加入している事業主	
渴 ▼ ニ ▼	本い。 左折のときは、外側大回り た右折のときは、外側大回り た右、たの安全を確かめ、右 中の面前直後を渡る。 本の安全を確かめ、右 大をあげて早く提出してく たさい いる橋だと思い、必らず彼 前着事業団で たっ安全を確かめ、右 「ないものがありましたらな ないものがありましたられます。したがって三 たかのなり後一人でまだ諸水雪を提出したので ないものがありましたらな 本前に、約回り にまた記がので たさい たたさの たたさい たたさい たたさい たたさい たたさい たたさい たたさい たたさい たたさい たたさい たたさい たたさの たたさい たたさい たたする たちで たたさい たたるの たたさい たたるの たたさい たたるの たたさい たたるの たたさい たたさい たたるの たたさい たたるの たたさい たたるの たたさい たたるの たたさの たたるの たた たたさい たた たたさい たたさ たた たた たたで たた たたで たための たた たた たた たらな たた たた た た た た た で た た た た た た た た た た た た た
のとおりでした するものでと りし し	
	H 中 に H ー 日 に H ー 日 に H ー 日 に
成 成	楽も行ないます。 楽も行ないます。 専士の世界の 楽を行ないます。 楽を行ないます。 楽を行ないます。 楽唱加水ール 学校の 学校の 学校の 学校の 学校の 学校の 学校の 学校の
十分までです。 十分までです。 十二日 年 10日 年 10日 年 10日 年 10日 年 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日	六 五二月三二二二月だるとないで数まし の十十十十二二が 日日日日日二。はで数五く開全く実

F # 10 P

